

令和7年3月31日

47

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長 足立 信也 殿

所在地 大分市大南地区文化財同好会
団体名 会長 西 哲 弘
代表者氏名 大分市大字中戸次4491-2
電 話 097-597-0259
担当者名 XXXXXXXXXX
担当者連絡先 XXXXXXXXXX

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 交付決定年月日 | 令和 6年 9月 3日 |
| 交付決定番号 | 協 働 第 1647 号 |
| 2. 事業名 | <u>大南地区文化財等保存及び継承事業</u> |
| 3. 補助金の交付決定通知額 | <u>158,500円</u> |
| 4. 補助金の概算交付額 | <u>158,500円</u> |
| 5. 補助金の精算額 | <u>158,500円</u> |
| 6. 事業の成果 | |

地域の文化の顕彰・継承及び史跡の保存を図ることを目的に、講演会、機関誌「落穂」の発刊、

出前授業、子ども向けパンフ等を通じて、地域住民及び市内外の方々に情報発信ができた。

また、大南公民館で、地区住民を対象に歴史講座を行い、文化の継承を図ることができた。

7. 添付書類 (1)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
(2)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
(3)その他市長が必要と認める書類

(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)



団 体 名	大分市大南地区文化財同好会			
事 業 名	大南地区文化財等保存及び継承事業			
主な活動地域 ※該当する□に チェックしてく ださい。	☐ 市内全域 ☐ 大分中央 ☐ 大分東部 ☐ 大分西部 ☐ 大分南部 ☐ 南大分 ☐ 鶴崎 ☒ 大南 ☐ 植田 ☐ 大在 ☐ 坂ノ市 ☐ 佐賀関 ☐ 野津原 ☐ 明野			
実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過等) ※別紙添付可	時期 (月)	実施場所	受 益 対象者数	実 施 内 容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	別紙の とおり			
使用した 広報手段と その効果	☐ ホームページ ☐ チラシ、広報誌 ☐ facebook 等の SNS ☒ その他（具体的に）			
	・機関誌「落穂」90号を会員、関係機関（国・県・市の図書館等）に寄贈。 ・「竹中校区史跡めぐり双六」を竹中小学校・竹中中学校の児童・生徒、竹中公民館および清静園に配布。 ・「戸次校区史跡めぐり双六」を戸次小学校・戸次中学校の児童・生徒、戸次校区公民館および親和園に配布。 広報の効果 大南公民館の講座「歴史散歩」・「古文書解説事始め」は、いずれも熱心に講師の話を聴講し、学びを積み重ねた。「歴史散歩」では、5回のうち3回は室内での講義、2回が現地踏査であった。講義の1回目が「判田志田原の四国八十八ヶ所写霊場～身近な地域の歴史的遺産～」のテーマで、霊場の石仏や勧請についてくわしい講話であった。また、霊場の特色についても興味あるお話をいただくことができ、参加者からの質問などもあった。2回目は、「庚申塔と庚申信仰」について、大分市下判田の事例を中心に講話をいただいた。 現地踏査は、「元町および高瀬石仏」を見学し、石仏の形から時代背景を探ったり、石仏の種類などについての話を聞いたりすることができた。関連して「仏像の種類と見分け方」の講話（3回目の講義）があり、如来部・菩薩部・明王部などの仏像の見分け方に聞き入った。 2度目の踏査は、「在町」戸次本町の町並み歴史散歩を行った。地元戸次に散在する文化財「帆足家酒造蔵」「蚕霊塔」「旧帆足杏雨宅」などを巡った。初めて見る参加者もいて、興味深い時間を過ごすことができた。 「古文書解説事始め」では、「中世の大夫家に関する文書を読む」のテーマで10回の講義を行った。古文書資料とその解説が講義の中心で、古文書に書かれている大意と解説も付け加わり、意義ある講義となった。			

活動目標の報告	会費収入、事業収入や寄付金収入等の自己収益金の拡大、参加市民等の受益対象者の増加目標に取り組んだ結果 1 自己収益拡大に向けて 会員数：50名 会員以外への機関誌「落穂」販売冊数：44冊 大南地区の高齢化率は、30%を超えている。特に、上戸次・竹中校区は50%を超えており、過疎化が益々深刻な状況となっている。 こうした中、会員の高齢化も進み、死亡したり、自力参会が困難となったりしたため、退会を余儀なくされるという事態が進んでいる。 昨年度に引き続き、郷土の歴史に親しむ学習に活用していただくため、今年度新たに竹中版・戸次版の双六を発行した。 また、大南公民館主催講座の「古文書解説事始め」や「歴史散歩」、大野川合戦まつりなどの機会を通して、会員の勧誘を鋭意続けてきているものの、会員数の減少傾向に歯止めがかからないことが、収益が増えない主たる原因となっている。継続して文化財同好会への勧誘活動を進めるとともに、魅力的な機関誌「落穂」づくりについても、創意工夫を図っていききたいと考えている。 また、機関誌「落穂」の販促のため、教室・講座のみならず、各種のイベントにおいても、販売ブースを設けて、売り上げを伸ばしたい。 2 受益対象者を増加させる取り組み 対象者数 目標：1000人 実績：1242人 合戦まつりでの広報宣伝活動に力を入れるとともに、大南公民館や4校区の公民館、さらには小中学校との連携を工夫・充実するなどして、活動の活性化に努め、受益対象者の拡大を図った。 合戦まつりでは、250人の方が同好会のブースにお見えになり、四国や福岡県からの武将の子孫・関係者70人が、まつり会場や成大寺、慰霊碑などを訪れたので、役員を中心に対応した。 昨年度に引き続き作成した校区双六は、竹中・戸次両校区の学校に配布するとともに、老健施設、校区公民館などにも配布したので、多くの方々にご利用いただいている（470人）。 この他、大南公民館の主催講座には、延べ265人の参加があり、目標とする受益対象者数を大きく上回る実績を上げることができた。
事業の成果	地域への効果について（対象地域にどのような効果があらわれたのかを記入） 1 1月開催の「大野川合戦まつり」には、市内外から多くの来訪者があった（県外からの来訪者もあり）。大南公民館の教室・講座である「手作り甲冑教室」で作成した甲冑の展示ブースに隣接させて、文化財同好会のブースにも多くの方に足を運んでいただいた。戸次川合戦関連の掲示物や機関誌「落穂」の展示等を行い、多くの質問が寄せられた。 また、竹中校区と戸次校区の「史跡めぐり双六」が完成し、大南地区4校区すべてが出来上がった。小中学校はもちろんのこと、校区内の諸機関にも配布し、郷土の歴史や文化に触れるとともに、地域活性化の一助にもつながった。 市民への効果について（市民福祉の向上にどうつながったのかを記入） 会員には高齢者が多くいるが、研修会をすると、知人・友人との久々の再会を喜び、さらに長生きをしようというエネルギーが沸いてくるようだ。年度内に2回の研修会を行い、2回目の参加者は増加した。同好会会員が若干増えたことも、ありがたかった。

来 年 度 に 向 け た 課 題	会員の高齢化が進み、体が不自由になったり、死亡したりして、会員が減少傾向にある。それに伴い、会費収入が減少傾向にあり、調査・研究や案内等にも苦心している。今後の同好会の活動に工夫の余地がある。 例えば、特に60代以下の会員募集に向け、大南公民館主催教室・講座、秋季研修会、各種イベントの機会を勧誘の取組を鋭意進めていきたいといったことがあげられる。また、機関紙「落穂」の原稿募集や会の活動内容そのものにも再考する必要性が生まれてきている。 本会独自の校區別の「史跡めぐり双六」や杏の会と連携した「大南郷土カルタ」の作成を進めているので、より親しみの湧く、楽しい作品づくりに向けて創意工夫を重ねていきたい。「史跡めぐり双六」については、地区内4校区全て終了した。今後の有効活用につなげていく必要がある。小中学校のみならず、介護施設等にも配布する計画でいる。 「大南郷土カルタ」は、現在作成途中である。出来上がったあかつきには、「史跡めぐり双六」とともに、それらを楽しみながら郷土理解を深め、郷土愛を育む契機となるような活動も展開していきたい。
------------------------------	--

令和6年度 大南地区文化財同好会活動報告

別紙

時 期 (月)	会議・活動、実施場所	受 益 者 対象者数	事 業 内 容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
5月26日 10月27日	鶴賀城関係整備 (春) 鶴賀城関係整備 (秋) 鶴賀城本丸 及び 山崎台慰霊碑周辺	15名 15名	道路整備・草刈り、枝打ち、落葉処理
5月16日 6月20日 7月18日 8月22日 9月19日 10月17日 11月21日 12月19日 1月16日 2月20日	<*大南公民館 教室> ー地域街づくり事業ー 古文書解読事始め (通年) (地域住民 他) 10回シリーズ 中世の大友家に関する 文書の解読	21名 17名 21名 20名 18名 17名 19名 18名 15名 16名	講 師：大南地区文化財同好会 会 長 西 哲弘 場 所：大南公民館 研修室A 合計(延べ) 182名
6月 6日 8月 1日 10月 3日 12月 5日 2月 6日	<*大南公民館 教室> 歴史散歩 (通年) ① ② ①判田八十八ヶ所霊場 ②庚申塔と庚申信仰 ④仏像の種類と見分け ⑤	20名 18名 17名 14名 14名	講 師：同好会 西 哲弘 会長 場 所：大南公民館 研修室A①②④ ③：元町石仏、高瀬石仏 ⑤：戸次校区散策 合計 (延べ) 83名
7月 4日 9月 5日 11月 7日 12月 5日 2月 6日	大南かるた制作会議	4名	大南地区4校区にある史跡や景観等の中から厳選し、読み札・取り札・解説書を制作中。 ○取り札の絵は、那賀 美代 さん (*2022年度 県美展 最優秀作品制作) ○読み札とその解説は、西会長
6月29日	令和6年度 総会及び研修会	34名	前年度総括、役員改選、活動方針・計画 等 演 題：「歴史文化で魅力ある地域へ」 講 師：市文化財課参事補 佐藤 道文 氏
2月 5日 2月12日 2月28日 3月12日	史跡巡り双六(竹中版)作成 竹中版関係機関へ配布 史跡巡り双六(戸次版)作成 戸次版関係機関へ配布	470名	既存の地図を活用し、校区一周双六を作成 竹中小・中、戸次小・中、校区公民館、老健施設等に配布 (各機関にて歴史学習等の授業、施設内での双六ゲーム等に利用していただいた)
11月 1日	「落穂(90号)」発刊 150部	44名	会員には、秋季研修会で配布 希望者には1,000円で販売
11月 9日	第20回 大野川合戦まつり	250名 70名	接遇対応：西会長 野尻副会長 戸高理事 県外からの視察者対応：田島副会長 (* 慰霊碑、成大寺、願行寺 等)
11月30日	令和6年度 秋季研修会	45名	演 題：「戸次川合戦について」 講 師：市文化財課調査員 山上 至人 氏
12月12日	戸次川合戦慰霊祭	30名	役員(会長・事務局長)が慰霊祭に参列 場 所：戸次校区 嶺地区山崎台

計1,242名

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

47

事業名： 大南地区文化財等保存及び継承事業

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	158,500	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会 費 収 入	99,104	会費の一部
事 業 収 入	41,000	機関誌「落穂」売却益(1,000円×38冊, 500円×6冊)
寄附金収入	0	
そ の 他	0	
合 計	298,604	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報 償 費	0	
旅 費	0	
消 耗 品 費	3,966	文具代、用紙代、CDファイル(うち補助対象外530円)
燃 料 費	0	
食 糧 費	5,664	熱中症対策用飲料として
印刷製本費	163,191	機関誌「落穂」発刊(90号)150部印刷代 既刊「落穂」の増版印刷代(復刻版) (うち、補助対象外17,991円)
通信運搬費	11,783	案内用切手代、ハガキ代、「落穂」の寄贈代
広 告 料	0	
保 険 料	0	
手数料・委託費	114,000	史跡整備費委託料 竹中校区史跡めぐり双六印刷代 戸次校区史跡めぐり双六印刷代
使用料・賃借料	0	
原 材 料 費	0	
備品購入費	0	
合 計	298,604	補助対象経費 280,083 円

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。